

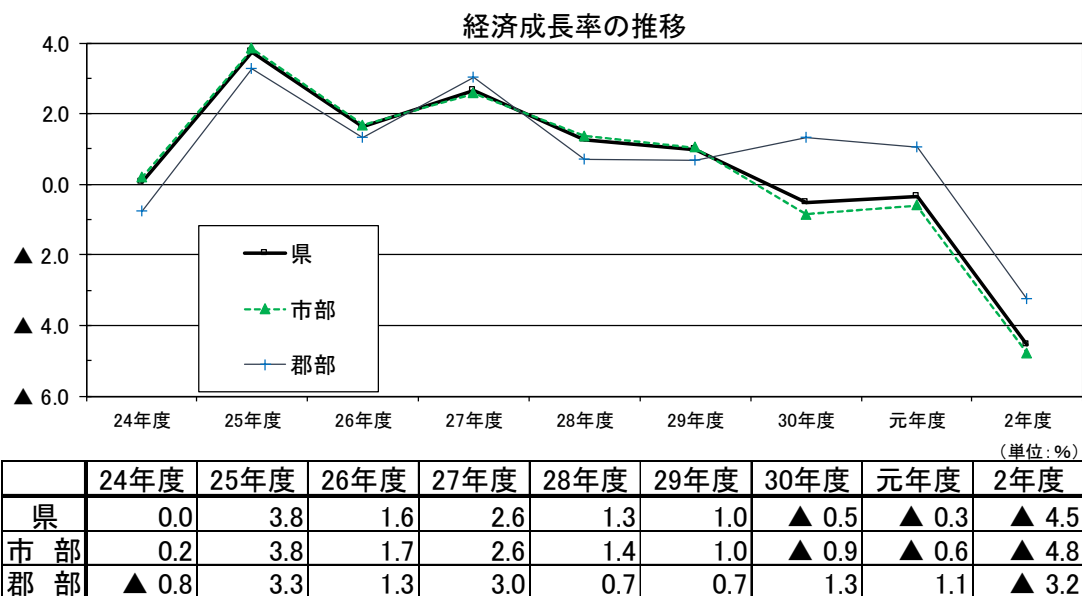
## 令和2(2020)年度 市町村経済統計の概要

### 【ポイント】

- 建設業への公共投資の増加に伴い、6町でプラス成長
- 前年度増加した建設業の反動減や、新型コロナウイルス感染症の影響による宿泊・飲食サービス業等の減少に伴い、28市町村でマイナス成長

### 1 県経済の概況

新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大による緊急事態宣言等の発令や、外出自粛の動きなどから、幅広い産業が打撃を受けた結果、令和2(2020)年度の経済成長率は▲4.5%(名目、前年度▲1,120億円)で、比較可能な平成24年度以降、最大のマイナスとなった。

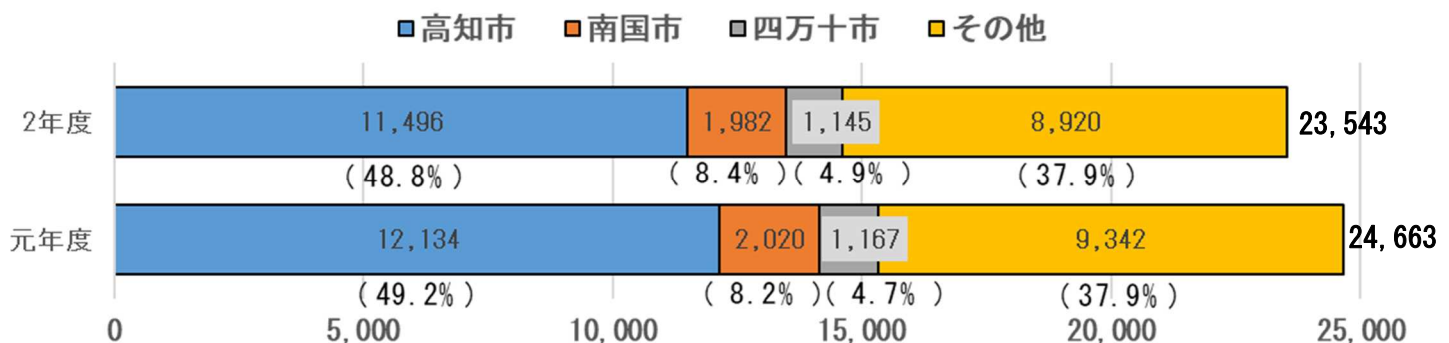


### 2 市町村内総生産

#### (1) 市町村内総生産額(名目)

市町村内総生産の総額2兆3,543億円を市町村別にみると、高知市が1兆1,496億円(前年度比▲5.3%)で全体の48.8%(同▲0.4pt)を占め、次いで南国市が1,982億円(同▲1.9%)、四万十市が1,145億円(同▲1.9%)となった。

市町村内総生産(億円)・・・( )内は構成比



## (2) 経済成長率

経済成長率を市町村別にみると、東洋町(+22.0%)や田野町(+8.1%)など6町(前年度▲15市町村)全てが、建設業の増加が寄与したことによりプラスとなった。

一方、安田町(▲26.9%)や大川村(▲26.0%)など28市町村(同+15市町村)は、建設業や宿泊・飲食サービス業の減少などが寄与したことによりマイナスとなった。

○寄与度1位産業の市町村数

	プラス	マイナス	寄与度
建設業	6	10	0.49
宿泊・飲食サービス業	0	7	▲1.50
製造業	0	5	▲0.62
運輸・郵便業	0	3	▲0.69
水産業	0	2	▲0.17
その他のサービス	0	1	▲0.63
計	6	28	—

○市町村別経済成長率(単位:%)

	市町村	成長率	寄与産業
1	東洋町	22.0	建設業
2	田野町	8.1	建設業
3	本山町	7.9	建設業
32	北川村	▲18.0	建設業
33	大川村	▲26.0	建設業
34	安田町	▲26.9	建設業

※市町村内総生産に対する産業別寄与度

## (3) 産業構造

### ①市町村の産業別構成比

市町村の産業別構成比をみると、第一次産業では安田町(19.4%)、第二次産業では北川村(48.4%)、第三次産業では高知市(87.7%)が最も高い割合となった。

また、市町村で産業別構成比が最も高い産業は、保健衛生・社会事業が14市町村(全体の41.2%)、次いで、建設業が12市町村(同35.3%)、製造業が6市町村、鉱業が1町、公務が1市となった。

○産業別構成比(上位3位)

(単位:%)

	第一次産業		第二次産業		第三次産業	
1	安田町	19.4	北川村	48.4	高知市	87.7
2	黒潮町	14.6	仁淀川町	47.6	四万十市	83.1
3	北川村	14.2	馬路村	44.5	佐川町	77.7

○産業別構成比1位の市町村数

産業	市町村数
保健衛生・社会事業	14
建設業	12
製造業	6
鉱業	1
公務	1

### ②産業別の市町村構成比

産業別に、総生産が県内1位の市町村をみると、林業では四万十町(10.1%)、水産業では室戸市(24.8%)、鉱業では仁淀川町(56.0%)、他の産業では全て高知市となった。

○産業別の市町村構成比(上位3位)

(単位:%)

	林業		水産業		鉱業	
1	四万十町	10.1	室戸市	24.8	仁淀川町	56.0
2	四万十市	9.7	黒潮町	19.6	高知市	17.0
3	香美市	7.2	土佐清水市	11.2	室戸市	6.0
3	大豊町	7.2				

○産業別の高知市構成比(県内1位)(単位:%)

農業	12.9	金融・保険業	67.7
製造業	29.1	不動産業	54.7
建設業	32.1	専門・科学・業務	73.8
電・ガ・水・廃	42.0	公務	48.4
卸売・小売業	59.3	教育	40.8
運輸・郵便業	38.3	保健・社会	48.4
宿泊・飲食サ	54.4	その他	52.7
情報通信業	90.9		